

# R.H. Complex!

2009 Summer,  
Sago-jo/Seura-Isago  
Presents.

Selected rough  
illustrations of  
Seura Isago,  
2007-2009.

Sago-Jou Presents.

成年向

FOR ADULT ONLY



**R.H.**  
**Complex!**



**R.H.**  
**Complex!**

■ 目次

ノーマーク爆乳党/-咲-saki	09/08/16	05-
クラ姦/マクロスF	08/08/17	14-
ガーネットさんで遊ぼう/ドラゴノーツ	07/12/31	22-
姐さんほれたっす!/グレンラガン	07/08/19	28-
女戦士さんにお問い合わせ/DQIII	07/10/08	34-
100のルイス/ゼロの使い魔	08/12/30	42-
	後書	50-

● REC  
HDI

「じゃあ名前教えてくれるかな」

「の…っ和です…」

「和ちゃんか…可愛い名前だねー」

「いやー和ちゃんのおっぱいすごいねー」

「俺今までこんな乳揉んだことないよ」

「サイズいくつか教えてくれるかな？」

「……………ひゃ…106の…Kカップ…です…」

「すっげえ…Kカップかあ…」

「重量感がほんと堪えないねえ…」

「こんな事になるなんて…」  
私…「これから…体を…洗わねえの…」  
でも…お父さんに洗わさるの…  
一生麻雀を打つ事が許されなくなると…  
それだけは…それだけは嫌…!!」



「のっ和あーっ」

「兄ちゃん静かにしなよ…」

「大体立場わかってんのお前？」

「分もわきまえず高レートで」

「やんちゃしたお前助ける為に」

「あんな美少女が体はる羽目になつてんだよ？」

「くそっ離せっ和に触るなっ！」

「うるせえなあ」

「なんならお前の内蔵切り売りして」

「負け分払うつてのでもいいんだぜ？」

「それが…あつちにやちよつと負けるが  
こつちの可愛い娘でも…」  
「…っ！」  
「こつちはこつちで  
別の需要高そうな感じだしねえ」

「やっやめて下さいっ 私が…全部引き受けますから…」

「宮永さんには一切触らないで下さい…っ」

「は…っ原村さん…っ」

「宮永さん…私は…大丈夫ですから…っ」

「……………すつつつっげえ……………この仕事長い俺でも」

「こんなデカいのナマで揉むのは初めてだなあ」

「……………乳首はちよつと陥没気味だけど…」

「…ん…く…っ」

「おお…っ勃起するとすっげー存在感」

「乳首びんびんにおっ勃てて」

「そんなに気持ち良いのかい？」

ん…っ

《そんな訳…ない…っ  
これは…ただの生理現象…っ  
っっ…っそんなに胸  
揉みじだかないで…っ…》



「俺のちんぽなかなかでつかいでしょ  
これが今から和ちゃんの内  
ずぼずぼしちゃうんだよー」  
「い…っいやあああっ」  
「ほら見えるかな…」  
「和ちゃんのところろおまんこに  
ぶつといおちんぽが  
ずぶずぶ入っていつちゃうよ」  
「ひ…っうううう…っ！」

「あ…ああ…っ嫌…っいやああ…っ  
太い…っそれに熱くて硬い…っ！  
それが…入って…入って来るう…っ！」

「流石…っ処女まんこ…っ  
ぴっちり閉じた肉ヒダが吸い付いてくるっ」  
「痛い？和ちゃん？」  
「そ…っそれほど…痛くは…ない…っですけど…っ」  
「十分ほぐしたお陰かな…っじゃあ動いちゃうか」  
「やっまっ待って！  
嫌っ嫌あああっ！」

「まだちょっときこえないねえ」  
「それじゃ胸で気持ちよくなろうか?」  
「やっ胸…っだめえっ」  
「だめ…っ♡だめえええ…っ♡」  
「おっぱい揉まれて感じてるのかいっ?」  
「かわいい顔してるね」  
「これ見て何千万万って人がシコってくれるんだよ」  
「……っ!」

《見られてる…っ私…っ》  
「沢山の…っ沢山の男の人に…っ」  
「…それに…宮永さんにも…っ」  
「私のいやらしい姿…宮永さんに…っ」《》

「舌段々甘ったるくなっって  
感じてるのよく分かるよ  
膣内もどろどろのお汁で  
ぐちゅぐちゅになっってきたし  
本当に乳首敏感なんだなあ」  
「和ちゃん…おまんこおちんちんで  
犯されて気持ち良いんだ?」  
「…っそんな…っこと…っ  
ありえません…っ」  
「…和ちゃん気持ち良いよね…?」  
「(あの娘がどうなっっても  
いいのかなあ…和ちゃん…?)」  
《………宮永さんに…  
手を出させる訳には…っ》  
「ああ…っ宮永さん…聞かないで…っ」《》

「…気持ち良いよね?」  
「は…っはい…っ気持ち…っ  
気持ち良いです…っ♡」



「よく言えましたっ!」  
「じゃもつとよがらせてあげようっ」  
「たつぶりチンポあげちやうよ  
和ちゃんっ!」  
「ああ…嫌あ…あんっ  
こんなじ…こんなじ…はららら…」  
「ああ…私…つそんなあ…つ  
宮永さんが見てるの!」  
「見てるの!」

「あんっあっあっあっあっあっ  
ふあっこあっ♡あなこっ♡」  
「あ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
私…♡♡本止じ罪をばらばらするのよ…♡  
おちんちんとおまんこ」  
「ヌリわちやっのが…♡♡  
気持ちよすれど頭はあつ♡♡♡♡♡  
愛になっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「沢山の人に…っ♡宮永さんに…っ  
見られてるのに…っ♡  
えっちな腰…っ♡勝手に動いとおちんちん  
じゅぼじゅぼさせちやうのおお…っ♡」

「デカパイぶるんぶるん揺らしながら  
本気汁とぼして腰振ってっ  
さつきまで処女だったなんて  
信じらんないくらいなの  
ドスケベっ娘だな和ちゃんっ！」  
「ちが…っ♡違いますう…っ♡  
私…っ♡私ドスケベなんかじゃあ…っ  
ッんああんっ♡」

「うう…っ♡膣内ひんひんっ♡  
もう…っ♡ちもやばい…っ♡  
膣内でだしちゃうよ和ちゃんっ！」  
「うそっやっやめてくださっああっ  
膣内は…っ♡膣内に出されたら  
赤ちゃんできちやいますう…っ♡」  
「おらっ！おらっ！おらっ！おらああっ！  
デカパイ美少女のマンコの奥に  
ザーメン注ぎ込んでやるっ！」  
「いやっいや膣内射精  
いやあああっ！」  
「嫌あ…っ♡うっ♡うっ♡  
膣内射精ダメなの…っ♡  
イっちやうっ♡イかされちやうっ  
イかされちやうっ♡」

「イけっ！イけっ！イけえええっ！  
「あっあああああああっ♡」





「あ……っ♡ ああ……っ♡ うああ……っ♡」  
「そうそうくばあってまんこ開いてっ  
どろどろにザーメン垂れてきてるね……っ」  
「ああ……っ いやああ……っ」  
「じゃあこれからいっばい  
がんばろーね和ちゃん……っ」

「嫌……っこれが……っずつと……っ??」  
「嫌なのに……無理矢理イカされて……っ  
膣内射精までされて……っ」  
「でも……宮永さんと……麻雀続ける為なら……私……  
だから……っ気持ち良いのも……っ辛くなんて……っ」

「おこれ原村和にそっくりじゃね?」  
「つてあの麻雀全国の?」  
「最近のAVすげえなあどんなネタでも  
食いつくっつーかw」  
「タイトルもひでえパロだ」  
「でも見るこれすごいぞ……顔激似で  
無茶苦茶可愛いし乳もすっげえ……」  
「……確か……っごういうイロモノにじちゃ  
珍しくクオリティばねえな」  
「……俺買って帰ろ……」  
「おっマジで? 貸してくれよな今度」  
「そんなに見たいならお前も買えよw」



「……そういやネットで店探してるとき  
原村和似のソープ嬢の噂見たな  
在籍してんのはかなりの高級店らしいけど……」  
「このDVDの娘かもなあ」  
「……ありえるなあ……」  
「……もしかして原村和本人だったたりして……」  
「あるあるあ……ねーよw 夢見すぎだつてw」  
「……たよなあ……」  
「でもマジこんな位の爆乳美少女とやってみてーな」  
「たしかに……」

END.

# R.H. Complex!



■  
春の「ごらん〇有様！」  
からP4雪千枝。  
P4は描きたいネタが  
いくつか…

# 少女 の 盗



成人向  
FOR ADULT ONLY

「うあああ?! く…っ来るな…っ!  
止めろ…っこの虫共がっ!  
やめろクソ…っやめろおおおおっ!!!

バジユラ達の母艦内部に

捕らわれたクランとミシエル。

VF-25は母艦からの触手に絡め取られ、

開閉の出来なくなった強固なキヤノピーの下、

コクピット内部にミシエルは閉じ込められる。

一方バジユラ達はのし掛かる様にクアドランに集り付き、  
ハッチをこじ開けクランを無理矢理引き摺り出した…。

クラン達を捕獲したバジユラは  
ゼントランを凌辱、卵子を強制受精させ  
母胎として利用する特殊な進化を遂げた固体群だった。

ゼントランを犯す事に特化した

無数の触手を備えた巨体に押さえ込まれ

スーツを剥ぎ取られていくクラン。

異形の虫に豊満な体を蹂躪されていく嫌悪感と共に、

皮膚に触れる粘液の、体の奥底に熱を摺りこんでいく様な  
奇妙な感触に戸惑いを覚えるクランであった…。



「ん……ん……等……う  
なんで……こんな……っ!?  
ねちっ……っ……う……っ  
く……あ……っ……っ……♡うああ……♡

バジユラは的確にクランの性感帯を突き  
嫌悪を露わにするその言葉とは裏腹に  
豊かに実ったゼントランの体を  
確実に高ぶらせていく。

バジユラの繊細かつ  
激しい舐め上げに拠つて  
限界まで屹立させられた  
特大の乳首は、  
執拗な触手先のくすぐりに応え、  
切ない位の快感をクランの  
たわわな乳房に響かせていった……



「や……つやめろおおおっ入れるなっ  
」の……ムシなんか……っ  
いやだ……っいやだあああっ！  
ッ!!!  
いやあああああああああっ!!!

準備が完全に整った事を  
その発情臭で感じ取ったバジユラ。  
強くそして同時に淫猥なセントランの体を堪能し  
子宮に濃厚な子種を注ぎ込み強制妊娠させるべく  
巨大に勃起した生殖器を  
クランの膈内へ埋没させて行く。  
愛する幼馴染の眼前で処女を異形の生物に奪われる絶望に  
クランはか弱い少女の様に泣き叫ぶ事しかできなかった……

「クラン……っく……っ開かないろ？  
止めろ……っクランに触るんじやない……っ！  
クラン……っ！クアラアアアッ!!!  
媚薬じみた粘液に全身を浸され、  
人外の愛撫を執拗に全身に受けるクラン。  
頭程の体積を誇る巨大な双乳は  
柔らかく蕩けきり、柔らかな秘部は  
発情しきつた匂いを漂わせ  
かすかに白く濁った本気汁を  
際限なく溢れさせていた……

「うあ♡なんぞ♡いや♡嫌なの♡」  
だめだめだめ♡く♡く♡く♡  
そっ…っ弾く…♡んあああ♡ はうんん♡

処女を奪われた衝撃も束の間、  
媚薬粘液によつて強制的に発情させられた体を  
無数の触手に弄られ

ありえない程の快感を注ぎ続けられるクラン。

その強烈な快楽に本能的に体を捻り

逃げ出そうとしてしまうクランだが、

バジユラはその巨体に似合わない俊敏さで雌を追い

豊満な体を背後から押さえつけ

秘部をしなやかな触手達でねうちりと蹂躪し続ける…

クランの大粒のクリトリスも極細の触腕に  
根元を絡め取られ揺すぶられた挙句、  
更にもう一本の触腕で充血し切った突起の先を弾かれ出す。

破瓜の痛みも最早無く、

腔内を極太の生殖器に擦り上げられ、

クリトリスを触腕で揉み、舐めあげられる人外の愛撫に

クランは雌の甘い声を挙げ鳴き続ける事になる…



「おねがい……  
みな……っみないでえ……っ  
ミシエル……っミシエル……っ」

必死に立ち上がりバジユラの巨体を  
振り払おうとするクランだが、  
バジユラは柔軟に滑る脚を  
豊満なゼントランの体に  
絡ませ執拗に犯し続ける。

後ろからしがみつかれ、  
白く柔らかで肉付きの良い尻は  
細かな触手に舐め揉まれる。  
大柄な人間ほどもある巨大の生殖器に  
ついさつきまで処女だった  
クランの秘穴が激しく蹂躪されている。  
媚薬に侵され蕩けきった膣口からは  
絶え間なく愛液が噴き出し、  
子宮はバジユラの生殖器を  
歓迎するかのようになりきっていた……

絶頂の寸前まで追い詰められた状態で  
懸命に凌辱から逃れようとするクランだが  
そのしなやかな脚は生まれたての子鹿の様な  
不安定さを露わにしガクガクと震えている。  
その激しい反応がクランの味わっている  
快感の強さを物語っていた……

「ミシエル……助けて……っ  
私……もう……っ  
だめ……だ……っ♡だめ……ええ……っ♡

「まさか!? 嘘だ! 止めろ…っ!」  
いやだ…っ! バジユラのなんて…っ!  
いやだいやだいやだいやだいやだああああっっ!!!

生殖器の律動が一段と激しさを増し、  
その根元が不吉な痙攣を始めた。  
その動きが意味する事を悟ったクランは  
絶望の淵に立たされ悲鳴を上げる。  
しかしその体は激しい凌辱で否応無く感じさせられ、  
一擦り毎確実に絶頂へと追い詰められていく…

「いやだミシエルの前でイきたくなんか  
いやら…イきたくないっ  
イっちゃ…っら…め…え…っ♡  
はっんっ♡♡♡おおおおおおおっ♡

「クラン!!  
クランあああ…!!!

トドメになつたのは子宮口に叩きつけられた  
恐ろしく濃く、固体じみた  
弾力を備えたバジユラの子種だった。  
子宮に注ぎ込まれる精液に  
発情させられきつたクランは  
愛する幼馴染の目の前で  
涙と汗と涎に塗れた  
蕩け切ったアクメ顔を晒してしまふ…  
想い人の目の前で惨めに絶頂させられ  
無理矢理孕まされるといふ凄惨さに  
凍としたクランの  
女としての矜持も折れていく…

「みないれ…みしえるう…  
やら…ばじゅらのせいえき…ぶびゅぶびゅ…て…♡  
はへえ…はへえええ…♡  
やら…つなのにい…っ♡ おまんこ…きもちひい…っ♡  
じゅぶじゅぶ…っ♡ おまんこのひだひだ…っ♡  
コスってりゅうう♡

もうどれだけの間凌辱され続けたのか…  
数え切れない程の数のバジユラに子種を注ぎ込まれ  
クランは異形の子をその胎内に宿らされていた。

触手で揉み潰された、豊か過ぎる程の  
双乳の先からは母乳を噴出させ、  
生殖器で擦り上げられる膣内は  
絶頂の痙攣を繰り返していく。  
本能のままにセントランの  
肉付きの良い体を貪り続けるバジユラ。  
しかしクランもまた与えられる圧倒的な快樂に  
完全に墮ちていた…

キャンピーを叩き続けていた  
拳も砕け万策尽きたミシエル  
何物に変えても守るべきだった  
愛しい幼馴染の、虫ケラに孕まされ  
無惨に墮ちていく姿を絶望の中見つめながら、  
無力にひたすら助けを待つ事…  
それが彼に許された唯一の行為であった……

ガネットさんで遊ぼう。



成人向  
FOR ADULT ONLY

抵抗しても無駄ッすよ  
カーネット少佐  
さつき食らわせたスタンガンで  
まともに手足動かないっしょ

貴様ら…っ上官にこんな真似をして  
ただで済むと思ってるのか…っ!?

ええもちろんw

やっぱ知らねえのか  
あの事w

な…  
何を言ってる…っ?

アーシム殿下に少佐を払い下げ  
頂いたんですよ俺達

『アレには飽きた、  
お前たちの好きにしていっ  
ってね』

流石殿下話わかるw

な…っう…嘘だ…っ!  
殿下が…そんな…っ!

だから暴れても無駄だってw

うはーやっぱ乳すげえ  
身じろぎする度ふるんふるん  
させやがって…  
服から溢れそうだなw

ん…う  
く…ん…ん…ん

うお…っ  
少佐のまんこやべえ…っ！

膣内とろとろに柔らかけーのに  
入り口がぎゅちぎゅちに締めて来やがるっ  
マジチンポ引き抜かれるみてえだ…っ

く…ん…ん…ん…ん…ん

うはーw  
すげえ楽しみになってきた…っ

まずは人数分きっちり  
膣内出し決めてやろうぜ

や…ん…ん…っ  
な…中は…っ！

う…あ…っ♡  
乳首…やめ…っ！

うは  
それすげえ…っ

乳首コネられると  
膣内ビクビク震えやがる

少佐乳首超敏感？  
あの少佐が蕩けた表情  
させてるなんてな

く…これ以上…  
わわ…なあっ！

普段あんなにこえーのに  
こんなに敏感で  
エロい身体してたんだな

殿下に開発され  
切ってたんだろーなw

こんな極上の女を一から  
開発しきってその上ポイ捨てかあ

殿下マジうらやましいぜ…

んー

♡…んんんんんん♡

あれ、少佐イっちゃった？

殿下の事言われて  
イっちゃうなんて  
可愛いっすよ少佐w

あ…あ…♡ ああ…♡

お…っ！  
出すぞ…っ！

少佐のエロマンコ  
孕ませてやる…っ！

や…め…なか…っ♡  
♡♡♡♡♡♡

…っおちあっ!!!

ん？  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

すげえ少佐  
膣内出しされて  
イってやがるw

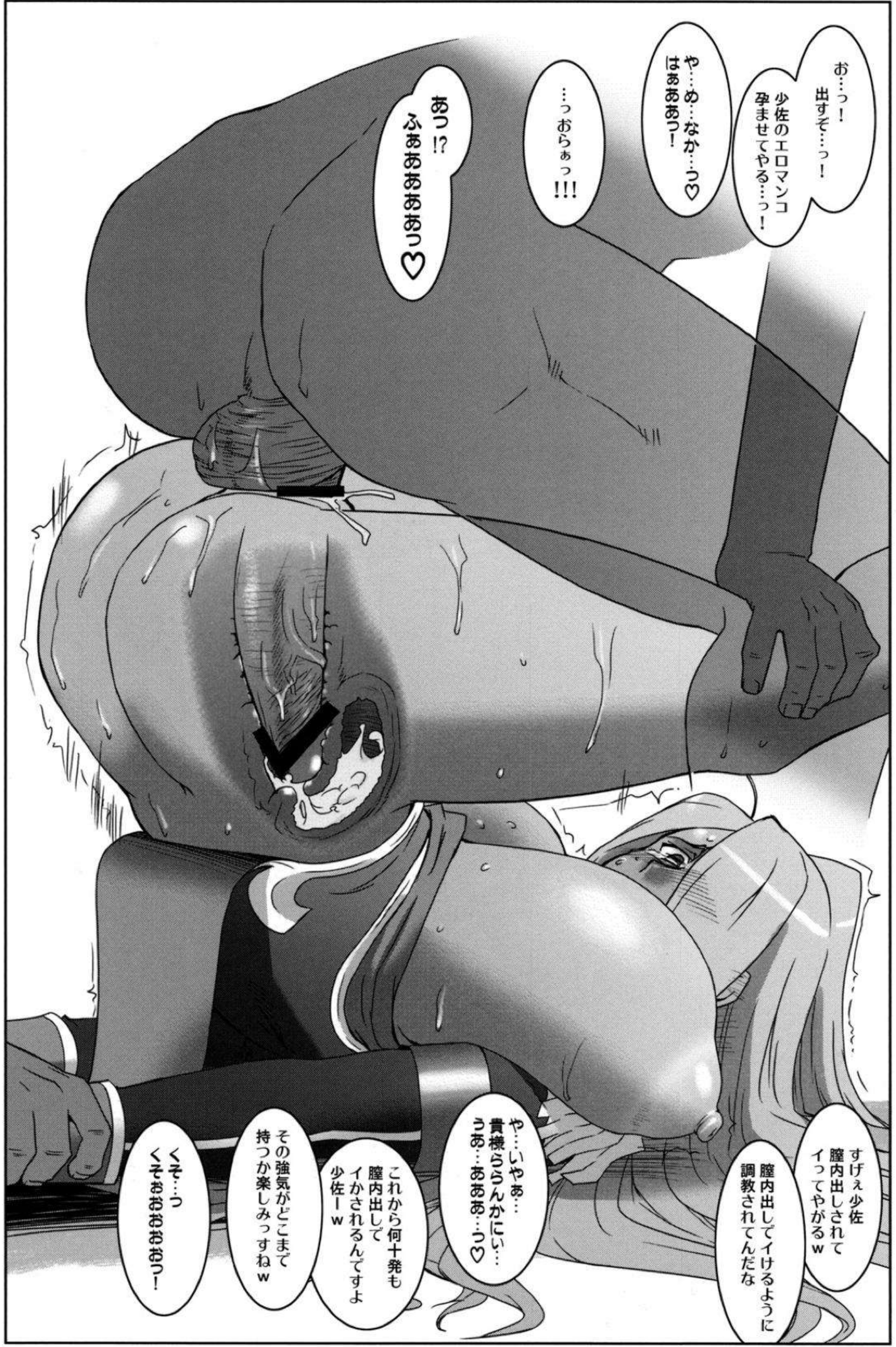
膣内出してイけるように  
調教されてんだな

や…っやあ…  
貴様らひんか…  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

これから何十発も  
膣内出して  
イかされるんですよ  
少佐！w

その強気がどこまで  
持つか楽しみますねw

くっ…っ  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



あ…あ…あ…♡

あれ？少佐気失ってる？

流石にいかせすぎたか？w

つってもまだ半分も回ってないぜ

少佐がいき易過ぎるんだなw

あ…あ…あ…♡

あ…あ…あ…♡

水でもぶっ掛けて起そうぜ

いやこれはこれで…っ

あの少佐を俺のチンポで屈服させたって感じがたまんねえー

お前は半分気失ってからつっこんだだけだろw

あの鬼のガーネット少佐もこうなっちゃ終わるんだなあ…

ここまでマンコ狂いとは正直幻滅だぜw

ひてえなお前w

さてしっかり一周回りきるまでちゃんと持ってくれよ…

ガーネット少佐…

ひどまず  
おしまい



成人向  
FOR ADULT ONLY

妹ナト...っ  
俺のモオ願...  
...  
...

——七年前であれだけ  
妹ナトの妹ナト...  
...

...も...  
実は結構...  
...

七年前...  
機関士達の...  
手入れ...  
...

...  
...





おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...

おかしな感じ...  
おかしな感じ...





**R.H.**  
**Complex!**



■ 春の「ごらんご有様！」  
からボツ大月ミーナ本  
表紙ラブです。  
いつか描けるかな…？

女戦士二人

お願



成人向  
FOR ADULT ONLY

P.Tの女戦士さんがあんまり馬鹿でかくて  
エロい乳をしており非常にけしからんので  
パイズリしてくれと頼んでみました。

『ばっ馬鹿がお前っ！  
いきなり訳の分からない事  
言うんじゃないよ  
この変態…っ！』

流石にご立腹の様ですが…

『…ま、まあお前がどーしても  
つて言うならやっつけてやっても…  
い…いいぞ…っ？』

この女戦士さん、所謂ツンデレみたいですな。



この際は非このまま…  
ビキニアーマーでみっちりど  
寄せられた乳肉の間に  
突っ込ませて頂きたい所。

『じいじのままっ…  
ぬ…脱いでするのも恥ずかしいけど…  
ちよっとそれ変態っぽすぎると…』

まあ変態なのはこの際否定しないのですが  
ビキニアーマーの間に挿入してみたい  
つてのは男なら誰しも一度は思い描く夢。  
なんとかお願い、と拝み倒してみました。

『わ…わーっただよ…もお…  
そこまで言うなら…今日だけだぞ…ほんと…』

ゆて…

ゆて…

むち…っ

ぴっちり乳肉が押し合う谷間は正に乳ま○こ。エロすぎです女戦士さん。

『そ…そんなじろじろ見るなよお…それにお前なんか鼻息荒いぞ…っ』

むきゅん

ん

勢いをつけて爆乳をかきわけるように挿入。四方八方から締め付けるみたい脂肪が圧力をかけてきます。しかも柔らかさも半端無いので挿入だけでイっせいでしまいそうな程。正に性器の様な乳肉をしています。

『うわ…き…来た…っこんな…おち○ちんって…熱いんだ…それに…すっこい硬い…っ』

んんんんん



最高の乳ま〇こに  
堪らず絶頂に追い込まれるち〇ほ。  
敢えて顔射ではなく乳内射精を選択。  
絶頂時の激しい痙攣も乳肉で柔らかく  
受け止められすこぶる気持ち良い…  
ぴゅちりと閉じた乳房の間からは  
溢れた精液が零れて、  
女戦士さんの首筋を汚していきます。

「うあ…っ！  
射精てる…っ  
熱い…よ…っ？  
これが…精液…なんだよな…  
アタシ…胸に…精液…出されちゃった…っ♡

ゴクゴク

ゴクゴク

おちる

おちる

おちる

おちる

「やっ!」  
駄目だ...っ!  
乳首は...乳首はアタシ...っ  
ひっ♡うあぁっ♡♡♡

たっぷり  
気持ち良くして  
貰ったお礼に、  
女戦士さんにも  
しっかり  
気持ち良く  
なって貰わ  
なくては...

どうも乳首が  
かなり敏感な様なので、  
鎧の下で既にビッピンに  
勃起していた乳首を  
両方から揃え、  
乳首ズリでご奉仕する事に...

はっ...  
はっ...  
はっ...

「らめーっ♡ーアタシ  
ちくびっだめっ  
っ♡っ♡っ♡っ♡  
う...そっ♡やっやだっ  
アタシ...イ...く♡  
イク♡う♡う♡う♡う♡う♡

思った通り乳首が  
弱点だった女戦士さん。  
両方の乳首をち○ほでコネて上げると  
直ぐに甘い喘ぎ声で鳴き始める程です。  
最後にはしっかりとこちらの絶頂にあわせて  
とろとろに蕩けたアへ顔晒してイってしまいました...

はっ...  
はっ...  
はっ...

はっ...  
はっ...  
はっ...

「うう…こんな…  
だじやがってえ…」

「ば…ばかあ…  
もお…お前なんか知らない…っ  
蕩ける様に柔らかいのに  
肌に吸い付いてくるような張りもあつて、  
ま〇こに全然負けてない。  
本当に最高のおっぱいでした。  
女戦士さんにも気持ち良くなつて  
貰えたみたいで大満足。  
女戦士さんはどうだったか尋ねてみると…」

「…そんなに照れなくても、  
でも知らないと言われると辛い所。  
個人的には今女戦士さんの  
下の方がどんな状態か非常に  
気になるのですが…  
尋ねてみましょうか。」

「…そんなに…  
アタシが…欲しいの…か…?」

「…ばか…漣う…お前が…」

「…かわいいそーだから…」

「…つきあつてやるって…それだけ…」

「…それだけ…なんだから…」

「…なんだか、好感触みたいです…」

「…さてさて、続きはいずれまた…」

# 1000のルイズ



成人向  
FOR ADULT ONLY





豊満に育った乳房。  
しかしその先っぽは未成熟な  
陥没乳首のままです。

『あゝ♡ あゝ♡  
あゝ…あゝ…  
あゝ♡あゝ♡  
だめよあ…♡』

『あゝあゝ  
だめだめだめ♡  
そなた♡愛♡♡…♡  
あゝあゝあゝ…♡  
殺いだわれささあ…♡』

〈あゝ…♡  
あゝ…♡  
こんなに…わたしの…♡  
あゝあゝ…えっちなかな…♡  
はっ…♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

〈あゝあゝ…  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



敏感な乳首をさんざん鞠られて  
完全に出来上がったルイス。  
はしたなく才人の野太いちんぽを  
つるつるのすじまんこに喰え込んで  
夢中で腰を揺ります。

『うそお…いや…だめ…これ…っ♡』  
『ル…ルイス…なんかすげえはげし…っ♡』  
『ち…ちが…っ♡』  
ま…魔法の…副作用なのお…っ？  
あ…し…信じられないくらい…っ♡  
気持ち…良いのおおお…っ♡』



ルイズのおまんこを突き上げるだけでは  
当然飽き足りない才人。  
背中から思う存分たぶたぶの乳肉を  
握ね回します。

『おひひひあめあめ♡♡  
ひめひひおまんこ♡♡しながらひ  
おひひへんへん♡♡♡♡  
ら♡♡♡♡めえええええ♡♡♡♡』

『う…わ…う…  
腰内…う…う…う…♡♡♡♡』

『駄目…♡♡駄目ええ…♡♡♡♡  
あ…おまんこ…♡♡♡♡  
サイトのおまんこ♡♡♡♡  
おまんこエグられて♡♡  
イっっちゃったあ…♡♡♡♡♡』

『ルイズ…っ！  
ごめ…っ俺…っ  
止まんないっ！』

ルイズの腰内の締めつかれる  
腰が溶ける様な快感に、  
才人は抽送がやめられない。  
いった直後の敏感すぎる  
腰壁を擦り上げられて  
半泣きになりながら  
ルイズは喘ぎ続けます。

『♡♡♡♡おまんこ！  
や…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
イ…た…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
サイト…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
も…だめ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
き…ま…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
おまんこ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡』



才人にしがみ付きながら  
快楽に飛ばされそうな意識を  
必死に繋ぎ止めるルイズ。  
才人も限界が近いがつつした  
ピストンで応えます。

『だめ…つあたま…ばかになっちゃう…っ♡』  
『ばかになっちゃうえ…っ！ルイズ…っ！』  
『いや…いやいやあ…っ♡』  
『ルイズはイクの嫌かっ？』  
『う…っ♡ううう…っ♡』  
『…イクの嫌じゃないっ気持ち良いの…すきい…っ♡』  
『サイトに気持ちよくして貰うの好き…っ♡』  
『なら思いつきりイっちまえルイズ…っ♡』  
『だめ…だめなの…っ…これ…っ♡』  
『す…すきっ…っ…っ許して…許してサイト…っ♡』  
『…っ♡…っ♡…っ♡…っ♡…っ♡…っ♡…っ♡』

絶頂時の激しい痙攣で  
射精に導かれる才人。  
ルイズの膣内はもっとなっと精液をこ  
ねたさようにちんぽを搾り上げます…。

『わ…っ♡わ…っ♡わ…っ♡わ…っ♡』  
『わ…っ♡わ…っ♡わ…っ♡わ…っ♡』





## ■ 後書

えー

という事で今回は総集編でしたー  
本当はこの夏でねこたま下出す筈だったのですが、  
うっかり春にまぼ逝きかけてしまい、  
しばらく入院&その後も通院連続でスケジュールめためたこ。  
そしてごちんの有様です(´・ω・`)  
冗談抜きで危うくぼっくり逝く寸前だったので  
今後は注意していきますー

今回は2007年の夏からの分のまとめとなりましたが、  
全体的には結構凌辱色強めかな？  
珍しく総集編にもかかわらずふたなり口です。  
2008年夏にひだまりふたなり本でした分  
ふたなりも描きたい欲が多少発散された形でしょうか？w  
まあでもそろそろまたふたなり描きたい欲が溜まって来てるので。  
次の総集編あたりはまたかなり人選びそうな作りになりそうな予感…

そして今回の描き下ろしはのどっちでした！  
アニメのおっぱいがエロ過ぎてもう描かすにはいられない！  
ふたなりも考えたのですがこのおっぱいは  
男達にめちゃくちゃ揉まれてなんぼ！  
だと思ってしまったのでこんなネタになっちゃいました。  
アニメがこれからオリジナル展開になりますが、さてどうなることやら…w

ということで今回はこれにてー

2009.08.16 瀬浦沙悟 拝

-奥付-

誌名: 「R.H. Complex!」

発行日: 2009年08月16日

発行者: 沙悟荘

瀬浦沙悟

印刷: POPLS様

発行者連絡先:

E-mail: ser@fx.sakura.ne.jp

HPURL: <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>

禁・無断転載・複製

# R.H. Complex!

Selected rough illustrations of  
Seura Isago,  
2007-2009.

2009 SUMMER



SAGO-10